

平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	分子-固体表面の直接相互作用による新しい固体触媒活性点の設計・構築
研究代表者	富重 圭一 (東北大学・大学院工学研究科・教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>本研究は、酸化還元反応及び酸塩基反応に有効な触媒活性点を、分子・クラスターと金属・金属酸化物の相互作用を利用して固体表面上に構築することを目的とするものであり、触媒活性点の構造解析と反応機構の解明を表面化学と計算化学の手法を用いて行うことにより、バイオマスや二酸化炭素を高付加価値化学品に変換する新たな固体触媒を設計できる可能性がある。</p> <p>これまで応募者は、バイオマスを変換して石油からは合成しにくい樹脂原料などの有用化合物を合成するなど、世界でも有数の研究業績を上げており、大きな研究成果が期待できる。</p>